

活動名	ビーイング(★)	分類	たかめあいプログラム
準備	ラシャ紙(グループ数)、水性マジック(参加人数分)	対象	小学生以上
ねらい・効果	よりよい人間関係の醸成	人数	1グループ 12~3人
安全配慮事項	他者への攻撃になるような言葉の有無	時間	20分程度
内容	「よりよい人間関係」を醸成することをサポートする手法		
手順	<p>1 グループにラシャ紙1枚、水性マジック(人数分)を配付する。</p> <p>2 各自が両方の手のひらを広げて親指をつなげ、隣の人と小指をつなげてラシャ紙の上でひとつづきの輪をつくり、交代しながらつながった手のひらの形をトレースする。ペンを持つ人が交代しながらトレースする。手首のところもトレースする。</p> <p>3 自分の両手首のところに名前(ニックネーム可)を書く。</p> <p>4 輪の内側には「よりよい人間関係」をつくるために必要なことを書く。(思いや価値観などの違いはあってもよいが、肯定的な内容にする)</p> <p>5 輪の外側には「よりよい人間関係」から遠ざかってしまうことを書く。(自分がされたら嫌な言動など、否定的な内容にする)</p> <p>6 お互いの書いた内容・意図を確認し、納得したうえで「よりよい人間関係」をつくるための「めあて」を決めて輪の内側に大きく記入し、全員でそれをめざしてその後の活動を行う。</p>		
言葉がけ例	<p>「『よりよい人間関係』をつくるためには、どんなことが必要ですか。輪の内側に自分の思いを書いてください。」</p> <p>「『よりよい人間関係』をつくるためには、どんなことをしてしまうと遠ざかってしまうでしょうか。輪の外側に自分がされるといやな言動などを書いてください。」</p> <p>「多かれ少なかれ違いがあっても、みんなのめざすものに大きな違いがないことはわかりましたね。それでは、『よりよい人間関係』をつくるための『めあて』を全員で決めてください。」</p> <p>「その『めあて』の達成をめざして、この後の活動に取り組んでいきましょう」</p>		
効果的な支援	各自の考えや価値観に違いがあっても、それを各自が受け止めて、よりよい人間関係づくりにつなげていけるよう支援する。		
備考			